
ブルークリスタル

亜矢那

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ブルークリスタル

【Nコード】

N0474K

【作者名】

亜矢那

【あらすじ】

人と打ち解けられず冷たい心を持った少女と
明るく友達が多い少年が出会うとどうなるのか・・・
二人の気持ちはどう変化していく？

プロローグ

性格。

人によってちがう。

冷たい人だっているし温かい人もいる。
人見知りするひとだっている…

それぞれの個性がある。

凍った心は凍ったままなのか？
それともとけていくのか？

性格は変わるのか？
変えられないのか？
変える必要があるのか？

誰にもわからない。
人とのかわりによって変わっていくものなのか。

誰とも打ち解けられず一人孤独に生きている少女と
明るく友達の多い少年。
正反対の二人が出会う今宵
二人は出会ったときとどう変化してゆくのか…。

プロローグ（後書き）

どうなるかはまだ作者にもわかりません。
よければ読んでくださいね。

1 冷たいココロの少女

やさしい。

悔しい。

悲しい。

嬉しい。

楽しい。

人間はそういった気持ちを生まれた時から持っている。
でもどこかでそういうものを置いてきてしまった人もいる。
そういう気持ちがない人もいる。

それが私だ。

私は思いを知らない。
友情とか恋とかがわからない。
知る必要のないこと…

神崎七瀬。私の名前だ。

私立青柳高校2年3組。

一応それなりに有名な神崎グループの後継者。
だからずっと勉強してきた。
しなればならなかった。
友達と遊んだこともないし
行事に参加したこともない。

私の父はまじめな人だ。

父のいうことは絶対だし、

昔からそうだったせいか逆らおうと思ったこともない。

学校のクラスメートがTVの話をしているも

私はのれない。

わからないし

知りたいとも思わない。

知る必要のないことは知らない。

ずっとこのままこうやって時は過ぎてくと思っていた。

というかそうであってほしかった。

人とかかわることなんてありえないから。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0474k/>

ブルークリスタル

2010年10月9日21時42分発行